

「歴史的課題への挑戦と未来への確かな布石」の
実現に向けた提案・要望

<針路別提案・要望>

針路 11 稼げる力の向上

■商業・サービス産業の育成



1 キャッシュレス決済の普及促進



要望先：経済産業省
 県担当課：商業・サービス産業支援課

◆提案・要望

キャッシュレス決済手数料の恒久的な引下げに向け、業界団体に一層の働き掛けを実施すること。

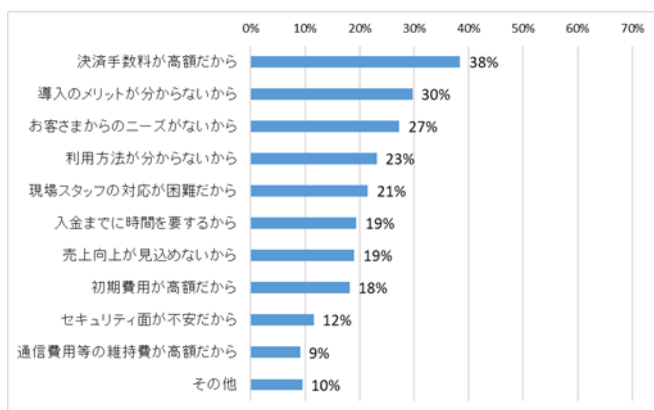
◆本県の現状・課題等

- ・ キャッシュレス決済は業務の効率化や売上げ拡大、データ利活用の促進等に資するものである。
- ・ 本県では、キャッシュレス決済の更なる拡大のため、商工団体や金融機関等を構成団体とする「埼玉県キャッシュレス推進協議会」において情報提供等を行うとともに、中小・小規模事業者に対してキャッシュレス導入・活用支援のための専門家を派遣するなどの取組みを進めている。
- ・ 一方で、県の調査では事業者がキャッシュレス決済を導入しない理由として、決済手数料が高額であることを挙げる声が多いため、キャッシュレス決済を一層普及させるためには、決済手数料の負担軽減が求められる。
- ・ 決済手数料の恒久的な引下げは全国一律で対応すべき問題であるため、国による一層の対応を求める。

◆参考

○キャッシュレス決済を導入しない理由

表1 キャッシュレス決済を導入しない理由



出典：県「令和3年度事業者向けキャッシュレス決済導入実態調査」より

○主な決済事業者の決済手数料

表2 主な決済事業者の決済手数料

決済事業者（サービス）	決済手数料
三井住友カード	2.7%～
PayPay	1.60%又は1.98%
LINE Pay	1.60%又は1.98%
楽天ペイ	2.95%
au PAY	2.6%
メルペイ	2.6%
埼玉りそな銀行	2.7%～

（出典：各社ホームページ）

■産業人材の確保・育成



1 労働移動の円滑化に向けた措置の実施



要望先 : 厚生労働省
県担当課 : 雇用労働課、人材活躍支援課、
多様な働き方推進課、産業人材育成課

◆提案・要望

人手不足分野や成長産業分野での人材活用が促進されるよう、労働移動の円滑化に向けた措置を実施すること。

◆本県の現状・課題等

- ・ 本県では、現在、業種を問わず、多くの企業が人手不足に直面している。
- ・ 例えば、令和6年3月の土木関連の職業についての有効求人倍率が約6.7倍であるなど、人手不足分野では、十分に人材が確保されていない状況が続いている。
- ・ また、企業はDX、カーボンニュートラルなどへの対応が求められており、それを支える人材の確保が大きな課題となっている。
- ・ 本県では、これまで面接会の開催などの就職支援や求職者のリスキリング等に取り組んでいるが、今後、人手不足分野、成長産業分野における人材確保が、一層、困難になることが見込まれる。
- ・ ついては、人手不足分野や成長産業分野での人材活用が促進されるよう、労働移動の円滑化に資する措置を実施するよう求める。

◆参考

○主な人材不足業種の有効求人倍率（令和6年3月：埼玉労働局資料 抜粋）

職業	有効求人倍率
土木の職業	6.66倍
建設の職業	5.06倍
保安の職業	5.12倍
介護関連の職業	4.44倍

○DXに取り組む上での課題（埼玉県四半期経営動向調査（令和5年4～6月期） 抜粋）

課題	回答割合
DXを担う人材がない	38.8%

■変化に向き合う中小企業・小企業事業者の支援



1 実質無利子・無担保融資の返済猶予等の金融円滑化要請の実施



要望先 : 金融庁、経済産業省、中小企業庁
県担当課 : 金融課

◆提案・要望

令和2年度に導入した実質無利子・無担保融資（いわゆるゼロゼロ融資）の返済本格化などを踏まえ、返済猶予等の条件変更や既存融資の借換えなどについて、事業者からの資金繰りの相談に柔軟に応じるよう金融機関に引き続き要請すること。

◆本県の現状・課題等

- 令和5年度の埼玉県下倒産企業数は、358件となり、令和4年度に引き続き2年連続で前年度を上回った*。
- 事業者を取り巻く経営環境は、エネルギー・原材料価格高騰の長期化や円安の進行などにより依然厳しい状況となっており、このような中、ゼロゼロ融資の当初3年間の無利子期間終了に伴う返済本格化などにより、事業者からの返済猶予等の条件変更や借換え等の申し出が増加している。
- このため、返済猶予等の条件変更や既存融資の借換えなど、事業者の借入金返済に係る負担軽減を図ることを目的として、資金繰りの相談に柔軟に応じるよう金融機関に引き続き要請することを求める。

*株式会社東京商工リサーチ「2024（令和6）年3月度埼玉県企業倒産状況」（令和6年4月12日）

◆参考

○埼玉県信用保証協会 条件変更承諾実績

令和3年度		令和4年度		令和5年度	
件数	金額	件数	金額	件数	金額
15,620件	183,366,262千円	16,125件	193,406,765千円	16,263件	199,404,333千円

○借換目的の融資実績

	令和3年度		令和4年度		令和5年度（令和6年3月現在）	
	件数	融資実行額	件数	融資実行額	件数	融資実行額
伴走支援型経営 改善資金 （借換利用）	—	—	869 件	18,769,818 千円	4,170 件	97,994,974 千円
小規模事業資金 （借換利用）	302 件	1,515,068 千円	281 件	1,417,046 千円	258 件	1,482,100 千円
借換資金	349 件	6,191,984 千円	176 件	2,871,206 千円	237 件	4,224,166 千円
合計	651 件	7,707,052 千円	1,326 件	23,058,070 千円	4,665 件	103,701,240 千円